

事業の背景・目的

市内には多数の谷戸や湧水が存在し、豊かな自然環境を形成していることから、様々な種類の動植物の生息・生育場所となっている。ところが、アライグマ等によってトウキョウサンショウウオが捕食されるなど、在来種への影響が深刻化している。植物についても、オオキンケイギク、アレチウリなどの分布拡大が問題となっている。このことから、都内屈指の多様性を誇る生態系のバランスを維持するため、外来種対策を推進している。

事業の内容

事業① 防除事業

市民からのアライグマによる被害相談をもとに駆除を行い、分布状況等について情報を整理した。

事業② 生息状況調査事業

希少種の生息地等、市内6地点を選定のうえ、アライグマ等の生息状況調査を行った。また、特別緑地保全地区では、オオキンケイギク等の駆除を行った。

事業③ 普及啓発事業

広報紙、ホームページ、チラシ配布等による周知を実施した。

得られた成果

防除事業：56件の駆除作業を実施し、39頭のアライグマを捕獲した。

生息状況調査事業：センサーカメラと捕獲器設置により生息の有無を確認し、11頭のアライグマを捕獲した。特別緑地保全地区ではオオキンケイギク1個体を確認し、駆除を行った。

普及啓発事業：市内の小・中学校に周知チラシを合計520部配布した。

今後も捕獲実績を積み上げ、調査も継続するとともに、専門家の指導・助言を仰ぎながら効果的な防除を検証することで、生態系への影響や被害を最小限に抑えていく。また、捕獲や目撃のあった地点を地理情報として整理し、HP等で対策マニュアルとして市民に情報提供する仕組みを整備する予定。